

平成27年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	神林久雄
		全体計画						経費区分		-		内線	3518
事務事業名	10652 道路改良事業（都市再生整備）												
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課												
施 策	06033500 橋や道路整備の推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	080203 土木費・道路橋梁費・道路新設改良費											
	事業	010000 道路改良事業（都市再生整備）											
事業目的						事業概要・効果							
社会資本整備総合交付金の市街地整備事業を活用し、幹線道路を重点に整備することにより、活力ある地域づくりと交通体系の充実を図る。						幹線道路は国道や県道及び学校、病院、産業団地等の公益施設並びに地域に形成されているコミュニティ相互を連絡し、活力ある地域づくりと交通体系の充実を図る。							

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
	①八幡南原線用地・補償②旭ヶ丘団地4号線L=50m
平成24年度 実績	平成25年度 実績
①八幡南原線用地・補償②宮原寺窪線用地・補償③高甫橋県民運動場線測量・設計委託	①八幡南原線工事・用地・補償②宮原寺窪線L=536m③高甫橋県民運動場線L=377m④大谷虫送線舗装改良工事L=304.0m+L=480.0m⑤新田松川線舗装改良工事L=300.0m以下成果説明書参照。
平成26年度 実績	平成27年度 予定
①八幡南原線用地・補償②高甫橋県民運動場線L=184m③新田松川線舗装改良工事L=340.0m④金井原屋部線舗装改良工事以下予算書参照。	①八幡南原線L=492m②広小路道路照明等

指標名	改良・修繕事業延長				
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標			300	492
	実績	50	0	726	524
指標選定の理由	緊急度及び財源等から事業実施計画を策定				
最終年度目標の根拠	実施計画及び国の交付金等から算出				
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		132,236	235,000
特定財源	国庫支出金	6,056	94,000
	都道府県支出金	0	0
	地方債	11,858	126,900
	その他	0	0
一般財源		114,322	14,100
人員数(人)	正規職員	2.1	1.1
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	14,401.8	7,543.8
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	14,401.8	7,543.8
市民一人当たりの経費		2.8	4.6
総額		146,637.8	242,543.8

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	124	
15節 工事請負費	126,228	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	5,884	立木等補償

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	90,000	測量・設計・工事委託
15節 工事請負費	140,000	改良・修繕工事費
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	5,000	立木等補償

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	活力ある地域づくりと交通体系の充実及び交通網の強化が図られる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	地元要望・緊急度等から優先順位を決め整備。安心安全な市民生活が図られる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	現地踏査等によりコスト削減を検討し整備を実施。事業は国の交付金を活用し実施。受益者負担金は過去の経過等から困難と考える。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

実施計画どおりに事業は順調に進捗している。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
引き続き関係地権者と用地取得や補償物件等について交渉し、随時調印を行う。 工事を実施し、安全・安心で快適な道路整備の推進をはかす。		交通渋滞の緩和、通行の安全を図るために、財源の確保と計画的な整備を進める	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	